

# 第一章活用事例

中学校版「心みつめて」 p.28  
You don't know how to... p.29

## セヴァン・カリス＝スズキ

「12歳の少女」伝説のスピーチ  
セヴァン・スズキ  
NHKエコチャンネル

### 【主題名】 自然愛護

3・②「自然を愛護し、美しいものに感動する豊かな心をもつ、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める。」  
環境保全の視点から自然を愛し守ることの大切さを理解し、自然と謙虚に向き合いながら共に生きようとする心情を育てる。

《ねらいとする道徳的価値について》中学生の時期は、豊かな感受性が育ってくるとともに、自然や人間の力を超えたものに対して、美しさや神秘さを感じ、自然の中で癒される自己に気付くようになります。人間と自然との関わりを見つめ直し、人間が自然の中で生かされていることに気付かせ、自然と謙虚に向き合いながら生きていくこととする心情を育てることが大切です。



「現在、地球を取り巻く環境問題には、どのようなものがあるだろうか。」

○生徒が知っている環境問題を挙げさせ、ねらいとする道徳的価値への関心を高める。

○教師が「You don't know how to... (オゾン層にあいた穴を...)」を範読する。

○当時12歳だったセヴァン・カリス＝スズキが一九九二年にリオデジヤネイロで開催された国連の「地球環境サミット」で行った「伝説のスピーチ」について説明する。

(インターネット・NHKエコチャンネルより)



「ガンにおかされた魚や絶滅していく動物たちのことを知った時、セヴァンはどのような気持ちになったのだろうか。」

○セヴァンの驚きの大きさや悲しみの深さに共感させる。

### 中心発問



「セヴァンの行動やスピーチを支えていたのは、自然へのどのような思いだったのだろうか。」

○セヴァンのメッセージが「伝説のスピーチ」と呼ばれることになる理由にも着目させながら、セヴァンがこのスピーチに込めた思いや、それを支える自然を愛する気持ちに共感させ、自然への畏敬の念を深めさせる。

《評価》セヴァンの自然への思いに共感し、自然を愛護しようとする心情をもつことができたか。



「セヴァンの生き方を通して、『自然愛護』について考えたことや学んだことをまとめよう。」

○「自然を守る」とはどういうことなのか、人間と自然とはどのような関わっていけばよいのかという視点から、考えをまとめさせる。

○「心みつめて」p.145 ⑬感動の心や畏敬の念をもち続けたら

を読んで、自分たちはどのように生きていくべきなのかについて考えを述べよう。

### 板書例

12歳の少女・伝説のスピーチ

セヴァン・カリス＝スズキ

演説するセヴァンの写真

ガンにおかされた魚や絶滅していく動物たちのことを知った時、セヴァンはどのような気持ちになったのだろうか。

- 動物たちが死んでしまったり絶滅してしまったりしていかなければならないことが納得できない。
  - 罪もない動物たちが人間のせいであって死んでいくのが許せない。
  - 人間の行為が動物たちを苦しめていることが悲しい。
  - 自分も人間である以上、自分にも責任があることが苦しい。
- セヴァンの行動やスピーチを支えていたのは、自然へのどのような思いだったのだろうか。

- 今、行動を起こさなければ手遅れになってしまう。
- 未来の子供たちに自然の美しさを残したい。
- 自分たちは自然に生かされているのに、その自然を壊してはいけない。
- 人間と自然とが共存できる社会を、自分たちがつくっていかねばいけないのだ。

セヴァンの生き方を通して、「自然愛護」について考えたことや学んだことをまとめよう。

- 自分たちが自然からたくさんのお恵を受けていることを忘れずに、自然と付き合っていかなければいけない。
- 自然を破壊することは、人間の暮らしを破壊することと同じなのだ。
- 自然は美しいもの。楽しませてくれ、心を落ち着かせてくれる。そんな自然を大切にしていきたい。

アフリカの  
サバンナ  
たくさんの  
動物が写って  
いる写真

### 《評価》

環境保全の視点から自然を愛し守ることの大切さを理解し、自然と謙虚に向き合いながら共に生きようとする心情を育てることができたか。